

2021年3月1日、当院に初めて作業療法士が入職しました。

作業療法士は基本的動作能力、応用的動作能力、社会的適応能力を維持・改善し、その人なりの、その人らしい生活を「作業」を通じて作っていきます。

当院には、脊椎・腰痛センターがあり、若年から高齢の患者様が手術を目的に多く入院しています。手術後、患者様は退院するだけでなく、職場や家庭において何らかの役割に復帰されます。そこで必要となるのが、応用的動作能力と社会的適応能力です。

今回、作業療法士が入職したことで、応用的動作能力と社会的適応能力を獲得した上で退院していただけるようになりました。

今後もリハビリテーション科は、患者様に様々なサービスが提供できるよう取り組んでまいります。

(文責 藤原聡)

新入職員のご挨拶



この度、入職しました作業療法士の立花洋介です。作業療法はその方の「生活の質」の向上を目標にリハビリテーションを行います。患者様の生活スタイルはその人独自のものであり、価値観や生活環境もさまざまだと思います。そのため、作業療法では食事や更衣など身の回りの動作だけでなく、復職に必要な動きや家事練習など具体的な動作を練習します。

今後はリハビリテーションの中で機能回復に加え、患者様の「生活の質」の向上を達成するために取り組んでまいります。